

三越伊勢丹グループ 春のJAPAN SENSES ～テーマは、「青の美」～

3月30日(水)～4月12日(火) 全国各店で開催
※一部会期の異なる店舗がございます。

三越伊勢丹は2011年より、日本の伝統・文化・美意識が作り出す価値を再認識し、新しい価値としてお客さまにご提供する「JAPAN SENSES (ジャパン センシズ)」に取り組んできました。2015年からは、新たに企業メッセージ「this is japan.」を掲げ、三越伊勢丹グループキャンペーンとして規模感を拡大し、商品はもとより販売サービスに至るまで、世界に通じる日本の良さをグループをあげて提案しています。2016年からは、今まで春(3月)・秋(10月)の年2回だったキャンペーンを、冬(1月)・夏(6月)を加えた年4回に拡大。誇るべき日本の良さを、新しい価値として国内外に発信しています。



青の美

2016年春の「JAPAN SENSES」のテーマは、『青の美』。日本人は、古くから厳かで、清く、奥深く、澄んだこの色に魅せられ、親しみを覚えてきました。今回は、この「青」という色が持っているさらなる魅力を紐解き、同時期に催される「瀬戸内国際芸術祭2016」とシンクロナイズしながら、さまざまなモノやカルチャーをご紹介します。

■瀬戸内国際芸術祭2016×三越伊勢丹

美しい瀬戸内海の島々を舞台に開催される現代アートの祭典。今年で3回目を迎えるこの芸術祭は、島々の伝統文化や美しい自然を生かした現代美術を通して瀬戸内の魅力を世界に向けて発信し、地球上のすべての地域の「希望の海」となることを目指しています。三越伊勢丹は、この「瀬戸内国際芸術祭2016」のプロモーションパートナーとして、コラボエキジビションを開催します。
※「作品鑑賞パスポート」の販売もいたします。



■瀬戸内国際芸術祭2016

春：3月20日(日・春分の日)～4月17日(日)
夏：7月18日(月・海の日)～9月4日(日)
秋：10月8日(土)～11月6日(日)

■三越伊勢丹コラボエキジビション

【会期】春：3月30日(水)～4月12日(火)
夏：8月10日(水)～22日(月) 予定
秋：10月19日(水)～11月1日(火) 予定

【会場】伊勢丹新宿本店、三越日本橋本店、三越銀座店、高松三越

■ショーウィンドーに瀬戸芸アートがやって来る！【会期】3月30日(水)～4月12日(火)

この時期、伊勢丹新宿本店のショーウィンドーを飾るのは、「瀬戸内国際芸術祭2016」にも参加しているアーティストたちの夢の競演。エステル・ストッカー氏、田島征三氏、豊福亮氏、日比野克彦氏、荒神明香氏、ムニール・ファトゥミ氏、片山真理氏、高橋啓祐氏、浅井裕介氏、コシノジュンコ/アトリエオモヤ、大巻伸嗣氏、総勢11人の豪華な顔ぶれです。
※大巻伸嗣氏は、伊勢丹新宿本店本館1階吹抜けのディスプレイを行います。

■瀬戸内国際芸術祭2016×三越伊勢丹 コラボエキジビション Featuring 猪熊弦一郎

「瀬戸内国際芸術祭2016」の参加作家のひとりである猪熊弦一郎氏は、三越の包装紙「華ひらく」の生みの親で、さらに氏の故郷に建つ、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館は今年開館25周年を迎えます。三越日本橋本店・三越銀座店・高松三越の3店舗は、猪熊氏をテーマに芸術祭と繋がることで、猪熊氏を生んだ瀬戸内にアートの魅力を探り、猪熊氏の新しい創造性を発見する機会といたします。

■ JAPAN SENSES スペシャルサイトを公開しています！

伊勢丹新宿本店サイト

www.miguide.jp/japansenses/shinjuku/

三越日本橋本店・銀座店共通サイト

www.miguide.jp/japansenses/mitsukoshi/

伊勢丹新宿本店

伊勢丹新宿本店の春の「JAPAN SENSES」は、地域の取組みとして瀬戸内エリアをクローズアップ。「瀬戸内国際芸術祭2016」参加アーティストとの饗宴をはじめ、特に食品・リビングは「愛媛」にフォーカスをあてて取り組んでいきます。また、展開規模を拡大・強化した「麻世妙」や、伊勢丹新宿本店のフィルターを通した「JAPAN POP カルチャー」の発信により、さらなる新しい価値をご提案します。

EHIME-MEGURI (愛媛特集) ■本館各階

豊かな自然と、そこで育まれる多様な農水産物。伝統の技や文化と、それを受け継ぎ、更新していく感性。そして、何よりも人の温かさ。そんな愛媛の魅力を、ぐるりとご紹介する「EHIME-MEGURI」が伊勢丹新宿本店で始まります。

EHIME×ISETAN E de I -いい出会い- 3月30日(水)～4月5日(火) ■本館5階=センターパーク

愛媛を旅して出会うモノ・コト・ヒト。

「愛媛を旅する」をテーマに、道後温泉・クラフト・フードの切り口で愛媛の魅力を伝えます。特に、日本最古の温泉として知られる道後温泉では、2014年から「温泉アートフェスティバル」が開催され、2015年度は、メインアーティストに蜷川実花氏を招聘。2016年度は、山口晃氏の参加が決定しています。今回、新宿本店リビングフロアでは、道後温泉とコラボレーション。道後温泉発の湯道具ブランド(YUIRO)の桶や湯上り着、柑橘成分配合のバスコスメなどを手に取りながら、道後温泉気分をお楽しみいただけます。



〈YUIRO〉

左：桶 四季 各9,180円

右：湯上り長方形衣 13,500円

砥部焼女性作家によるプロモーション ■本館5階=キッチンダイニング

砥部焼の魅力を伝える女性たち。

愛媛県砥部町を中心に生産される砥部焼は、約230年もの歴史を持ち、国の伝統的工芸品にも指定されています。その魅力をもっと多くの人に伝えたいという思いから、砥部焼の女流作家7人で結成されたグループが〈とべりて〉です。女性ならではの視点を活かした作品づくりやPR活動に取り組んでおり、その作品はJR四国の観光列車「伊予灘ものがたり」の車内でも使用されています。手作りならではの温かみや、女性らしいテイストが感じられるアイテムが揃います。



〈とべりて〉

左：松田知美 モーニングプレート 5,400円、カップ&ソーサー 5,400円

右：郷田裕佳子 モーニングプレート 5,400円、丸マグ 各3,240円

愛媛県宇和島市のブラッドオレンジを、和菓子・洋菓子に。 ■本館地下1階

愛媛に、ブラッドオレンジあり。

柑橘で知られる愛媛県の新たな産品として、今、ブラッドオレンジが注目されています。特に宇和島市は、愛媛県の中でも温暖な気候や、日当たりがよくやわらかな海風を受ける立地のもとで生産量を伸ばしつつあります。そのジューシーで甘み強い果実は、生で食べても、スイーツとしても美味です。



左：〈日本茶葉SANOAH〉キャラメルサンドクッキー オレンジと胡桃焙じ茶 2,700円(10個入) ■甘の味
右：〈クローバー〉宇和島産ブラッドオレンジのシュークリーム 324円(1個) ■カフェエシュクレ

岡山デニムを使ったクリエイションの発信

〈LUGHA〉と日本でもトップクラスのデニム・OEMメーカーで知られる倉敷市児島の241（ニヨンイチ）CO.FACTORYとのコラボレーション。生地から縫製までMade in Japanにこだわったデニムのセットアップをご紹介します。

〈LUGHA〉
デニムブラウス 24,840円
デニムパンツ 35,640円
■本館3階＝
センターパーク/ザ・ステージ#3



ネイビーのプレーンなTシャツにデニム地のボウタイのワッペンがよく映えます。片側の袖のみを切り返しにしたところもポイント。インディゴにこだわったデニムのハーフパンツは、洗いざらしの感じが印象的です。



〈SUPER THANKS〉Tシャツ 5,616円
〈LUGHA POCKET〉デニムハーフパンツ 20,520円
■本館6階＝リ・スタイル キッズ

ジャパンブランドによる「麻世妙」の展開



〈ヨウジヤマモト〉が手がける麻世妙のブラウス。直線的なカッティングが特徴です。ボトムはテーパードのスタイリッシュなデニムを合わせて。立体裁断で美しいシルエットに加え、フィット感にも優れています。

〈ヨウジヤマモト プリュス ノール〉
ブラウス 54,000円
〈ヨウジヤマモト ファム〉
パンツ 47,520円
■本館4階＝
コンテンポラリースタイル/ヨウジヤマモト
〈ヨウジヤマモト〉×麻世妙
■本館4階センターパーク/ザ・ステージ#4



そよぐ風にやさしくなびくフィット＆フレアのワンピース。今シーズンのコレクションからインスパイアされた淡く美しい色合いに染め上げました。衿にあしらった小花と小鳥の刺繍が春らしい上品な印象を与えます。

〈ケイタルヤマ〉
ワンピース 96,120円
■本館3階＝
インターナショナルデザイナーズ
イースト/ケイタルヤマ

婦人服フロアの共通テーマは、「SETOUCHI BLUE～瀬戸内の入り口～」。各階のプライベートブランドにおいて、瀬戸内の技術を用いたオリジナルアイテムを一堂に取り揃えました。

- ・本館2階センターパーク/ザ・ステージ#2（レディフォアザウィークエンド、1411、NEEDLE DESIGN）
- ・本館3階センターパーク/ザ・ステージ#3（LUGHA）
- ・本館4階ウエストパーク（プライムガーデン、ライフ&スタイル）

日本の“技と心”展 ものづくり×ものがたり 3月30日（水）～4月4日（月）最終日4時終了

■本館6階＝催物場

けっして派手ではないけれど、じっくりと何かひとつにこだわり、それをやり遂げる。それでいて、いつも夢を持ち続けている。そんな素敵に輝いている人たちの作品を集めました。



〈東京藝術大学ブランドのお箸〉

上から：

三田村有純「天煌」540,000円（携帯用ケース付）

松島さくら子「結び」32,400円（箸置付）

青木宏憧「赤色蒔絵箸」37,800円

松崎森平 色貝飾箸「風」32,400円

小椋範彦「春」54,000円

【お箸づくり教室】

3月30日（水）～4月4日（月）各日11時～6時（最終日4時終了）

参加費：2,700円

※お渡しは5月下旬頃となります。

日本の“技と心”展 ものづくり×ものがたり 3月30日（水）～4月4日（月）最終日4時終了
 ■本館6階＝催物場

The Wonder 500™
 選ばれし日本のクリエイション、世界へ。

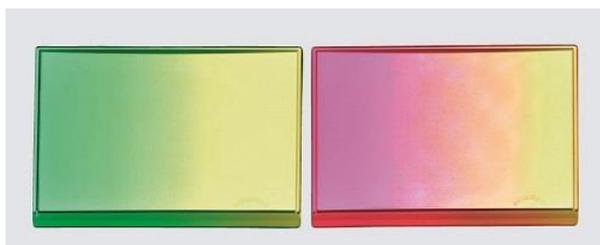
The Wonder 500™ は、クールジャパン政策の一環で、“世界にまだ知られていない、日本が誇るべき優れた地方産品”を発掘し、海外に広く伝えていくプロジェクトです。日本を代表する30人のプロデューサーによる“目利き”と一般公募によって、全国47都道府県から500のアイテムを選びすぐりました。それらを通して世界中の方々に、心地よい感動と驚き“Wonder”をお届けするというのが目的ですが、日本人にとっての新しい発見があるという点も見逃せません。今回は認定商材500品目に加え、生み出した約30事業者に光を当て、認定商材をはじめとした日本の“ものづくり”を体現している様々な商材を展示することにより、“ものがたり”のある日本の“ものづくり”を感じていただきたいと思います。

サイズ感がヨーロッパ向き。手漉き和紙や銀箔など和を感じさせながら、存在感あるモダンなデザインとしたその落としどころがうまいと評判です。

〈京都/ARATA〉
 銀箔モダンネックレス 23,760円



モダンでさりげない佇まい。高岡職人の技術に粋を集めた名刺入れです。「息をのむこの美しさはヨーロッパでこそ評価される」と、西欧バイヤーも絶賛。
 〈富山/高岡漆器〉螺鈿名刺入「松」ホワイト 108,000円

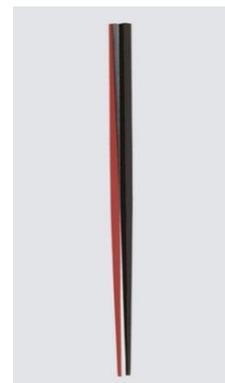


ケースを開けたときのスムーズな動きと表面加工の美しさは、まさしくクールジャパン。絶妙なカラーリングは海外の方にも魅力的に映っています。

〈東京/吉田テクノワークス〉オーナメントカードケース 2,700円

斬新なデザイン箸。箸本来の「つまむ」という機能に、「すくいやすさ」と「切りやすさ」という機能を高め、国内外で好評を博しています。

〈香川/BOPROJECT〉
 nicoichi「漆仕上げ」4,212円



高岡漆器の代表技法「螺鈿」と立体感のある「鏝絵」を組み合わせで作られた手鏡。海外に日本の伝統工芸の素晴らしさを伝えるに相応しいプロダクトです。

〈富山/漆器くにもと〉
 白梅鏝絵 手鏡 41,040円



富士山は日本の象徴と考える台湾の方々から問い合わせが多かったアイテム。見る角度で多彩な表情を見せ、インテリアとしても人気を集めています。

〈東京/中金硝子総合株式会社〉
 江戸切子ぐい呑み逆さ富士 4,860円

三越日本橋本店の春の「JAPAN SENSES」は、香川県生まれ、三越の包装紙のデザインを起こした猪熊弦一郎氏をクローズアップ。包装紙のデザイン「華ひらく」をモチーフとしたオリジナル商品の提案や、猪熊氏へのオマージュを込めた装飾・イベントを実施します。また、フォーカスエリア「瀬戸内」の生活文化、モノづくりの文化に現代性を掛け合わせ、全館をあけて新しい価値をご紹介します。

「華ひらく」猪熊氏が生んだ、愛され続けるデザイン

戦後間もない1950年、猪熊弦一郎氏によってデザインされた、日本の百貨店で初めてのオリジナル包装紙「華ひらく」。猪熊氏が千葉の犬吠埼を散策していた際、海岸で波に洗われる石を見て、「波にも負けずに頑固で強く」をテーマにしようと考えたことからこのデザインが生まれました。当時、三越宣伝部の社員だった漫画家やなせたかしさんにより「mitsukoshi」のロゴが書き入れられ、現在に至るまで半世紀以上もの間、三越のシンボルとして愛されてきた「華ひらく」。斬新でありながらシンプルで包むものを引き立てるデザインは、今や三越の代名詞的存在となっており、今回、さまざまなアイテムとのコラボレーションにより、新たな華を咲かせます。



ストーンフラワーの刺繍をワンポイントにあしらったシンプルなカット アンド ソーン。ソフトな肌触りが心地よく、爽やかな着こなしにひと役買いそうです。

レディス カット アンド ソーン 7,452円 (計20点限り、S・M)
 ■本館2階 = ニューヨークランウェイ



デニムの聖地 岡山発の三越伊勢丹限定パンツに、「華ひらく」の革パッチをほどこし、バックスタイルをアピール。裾をフリンジ風にカットしたクロップド丈パンツです。

〈e×1411〉デニムパンツ 35,640円 (計8点限り、23~26)
 ■本館2階 = ニューヨークランウェイ



コントラストが美しい「華ひらく」柄のスクエア型バッグが登場。装いのアクセントにも、サブバッグとしても大活躍。

トートバッグ 大 4,212円、小 3,888円
 ■本館1階 = ハンドバッグ

伊勢型紙の型染めによるストール。伝統柄の絞小紋が赤色部分に緻密に染め抜かれ、その配色の妙が見事。

〈廣瀬染工場〉
 江戸小紋ストール 各32,400円
 (絹100%、約75×180cm、2色)
 ■本館4階 = 華むすび



烏骨鶏の卵を用いて仕上げた濃厚な味わいのかすていら。表面に「華ひらく」の焼印をあしらいました。

〈烏鶏庵〉烏骨鶏かすていら (焼印入)
 1,556円 (1本、200g)
 ■本館地下1階 = 和菓子

■猪熊弦一郎と「華ひらく」展 3月30日(水) ~ 4月5日(火) ■本館1階 = 中央ホール (入場無料)

「華ひらく」の生みの親である猪熊弦一郎氏。その出身地である香川県丸亀市に設立された「丸亀市猪熊弦一郎現代美術館」は、今年創立25周年を迎えます。これを記念して、本館1階中央ホールでは、「華ひらく」の原画や猪熊氏ゆかりの品々をご紹介します。さらに、「華ひらく」をモチーフにした、写真家ホンマタカシ氏の作品なども展示します。

倉敷デニム企画

上品さとカジュアルさを併せ持つデニムセットアップ。

岡山県倉敷市のテキスタイルメーカー「ショーワ」のデニム生地を使用した、セットアップスーツ。生地にはシルクが混ざっているため、光沢があり上品な雰囲気仕上がっています。ジャケット単品でも使いやすいのが魅力です。



〈ミラ・ショーン〉
デニム セットアップスーツ
ジャケット 129,600円、
パンツ 37,800円
(AB4~AB7、ネイビー)
■本館6階=ミラ・ショーン

JAPAN SENSES 食材探訪～おいしい香川特集～

3月30日(水)～4月5日(火)

香川のさまざまな美味を一堂にご紹介。

フードコレクションでは、香川県をピックアップ。手打ちならではの食感が魅力のさぬきうどんや、瀬戸内海でとれる大きな穴子「ベえすけ」を使った棒ずしなど、さまざまな美味をご紹介します。



左：〈天勝本店〉ベえすけ穴子の棒ずし 1折 1,620円
右：〈本格手打ちもり家〉さぬきの地粉使用本生うどんプレミアム
300g(2人前) 756円
■本館地下1階=フードコレクション

三越銀座店

三越銀座店のテーマは、『GIN-MEETS JAPAN (ぎんみつで出会う日本の最旬)』。この春の「JAPAN SENSES」は、フォーカスエリア「瀬戸内」への全館での規模感のある取組みをはじめ、日本人を含む世界のお客さまに向け、「世界に誇る日本の生活文化・モノづくり×先進的な感性・価値」を発信します。また日本橋本店同様、「華ひらく」をモチーフとしたオリジナル商品のご提案もいたします。

瀬戸内から青い贈り物

讃岐の山から生まれた庵治石(あじいし)を、ガラスに溶かしたら瀬戸内ブルーになりました。香川生まれの杉山利恵氏が奏でるブルーマジック。

香川県特産の庵治石を使った暮らしに寄り添うプロダクト。薄く、縁の丸みをとることで、石とは思えない軽さ柔らかさが印象的です。



〈アジガラス〉
タンブラー 中
3,024円
幸せの蒼いとりさん 中
2,376円
■7階=グローバルメッセージ



〈アジプロジェクト〉
鳥のオブジェ オアゾー
8,640円
モン(はなびら) 5,184円
モン(おうぎ) 5,184円
■7階=グローバルメッセージ

古くからの撒き技法や江戸時代の浮世絵などにみられる縞模様など、日本独自の技を革製品に再現。モダンの中に培われた伝統の息吹を感じます。

1300年の歴史を持つ徳島の阿波和紙ブランド、天然の藍だからこそ成しえる独特の美しさと質感をご堪能ください。



〈インクワ〉
藍染革 ブックカバー
10,260円
藍染革 江戸墨縞 キーケース
10,800円
■7階=グローバルメッセージ



〈アワガミファクトリー〉
藍染めハガキ(箱入) (50枚入)
4,320円
■7階=グローバルメッセージ

(株) 三越伊勢丹ホールディングス コーポレートコミュニケーション担当 広報

TEL: 03-6205-6003 FAX: 03-6205-6009